

令和8年度 ミッションおよび経営改革プラン

団体名	公益財団法人計算科学振興財団
------------	----------------

■ 観点① 公益貢献

ミッション①		
地元企業のスパコン利用拡大および理系人材育成への寄与		
経営改革プラン①		
①	公益貢献の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元企業の金融機関との連携セミナー（SMBCと連携・スパコン活用セミナー、6月開催予定） ・ 神戸シミュレーションスクール開催時の地元企業の優先参加
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未利用の地元企業にスパコン活用事例や事業活動の効率化のメリットなどを紹介し、新規ユーザー開拓につなげる。 ・ スパコンでシミュレーション体験できる初級編セミナーを主に地元企業を対象に受講してもらい、当財団のスパコン利用の支援サービスを紹介する。
	具体的目標・指標	参加地元団体数：30団体
②	公益貢献の取組	神戸大学や神戸高専など周辺の理系大学機関との関係性の構築（スパコンの利用機会の提供や研究内容を事例集で紹介、また人材育成に関し連携協定を活用）
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ スパコンの利用普及の促進 ・ 大学機関等の研究内容をスパコン事例集で成果発表することで、理系人材の育成を支援
	具体的目標・指標	<ul style="list-style-type: none"> ○連携する近隣大学等の目標数：10大学等 ・ 神戸大学、兵庫県立大学、関西学院大学、神戸外国語大学、神戸高専、神戸高等技術専門学院 ○今後連携をアプローチする学校：甲南大学、神戸学院大学、ほか

ミッション②

周辺環境の変化に合わせたFOCUS事業・組織の刷新

経営改革プラン②

①	公益貢献の取組	FOCUSスパコンユーザ交流会の開催（8月27日@東京）
	期待される効果	寄付を前提とした賛助会員の目的から、FOCUSスパコン全ユーザに拡げ産業界の声を収集する機能を充実させるため、FOCUSスパコンユーザ交流会を開催し、企業技術者の知見や人的ネットワークを広げる機会の拡大とともに、より広範な産業界の意見集約による国等への提言力向上をはかる。
	具体的目標・指標	スパコンユーザー数（令和8年度末時点）：250団体(令和7年度末時点、244団体)
②	公益貢献の取組	「富岳」向けの産業利用の課題解消のため申請・審査の窓口の代行などを行う「スマート富岳」の制度の普及・促進に向け、組織内グループ間の相互連携に取り組む。
	期待される効果	富岳やFOCUSスパコンといった計算資源の産業利用での拡大
	具体的目標・指標	「スマート富岳」の目標数：10法人・10課題

■ 観点② 経営改善

ミッション①

負担金の充当先の効果検証と経費の見直し

経営改革プラン①

①	経営改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・財団設立から15年経つことから技術の進化や産業界のニーズなどスパコンを取り巻く環境が大きく変化している。 ・県・市とこれまでの事業を検証・総括したうえで、今後の事業の見直しを定款変更を含め検討する。あわせて、市および県からの負担金についても、財団がその使命を効率的かつ効果的に果たせるよう、適切な活用に努める。
	具体的目標・指標	今年度中に市民への周知や地元企業への貢献など事業の見直しを行い、令和9年度の県・市の予算編成で協議する負担金内訳に反映させる。

ミッション②

FOCUSスパコンの未使用時間を有効活用し、収益向上をはかる

経営改革プラン②

①	経営改善策	大学における小規模研究室単位でのスパコンの利用ニーズが潜在的に多いことから、産業利用に限らずFOCUSスパコンを利用する近隣の大学研究機関等にスパコンの利用を働きかける。
	具体的目標・指標	対象大学：3大学等 <ul style="list-style-type: none"> ・連携協定締結の大学：神戸大学・兵庫県立大学 ・新規：神戸高専